

スピリチュアル物語

262話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

●Google Meetセッション: 1時間\$80 / 90分\$115

●メール相談: \$40



「自分という意識がゼロポイントフィールドアカシックレコードにあつて、脳そのものには記憶はなく、思い出すという作業の度に脳が情報端末デバイスとしてゼロポイントフィールドアカシックレコードにコネクして記憶という情報を取り出しているとするれば、人が死んで肉体は消えと共に脳が無くなつてしまつても、その人の意識そして記憶は永遠にゼロポイントフィールドアカシックレコードに残り続けるつてことになりますよね？」マジリアルがマグワートの言葉をまとめた上でそう質問した。「ま、端的に言えば

そういうことになるじやろうなあ。」マジワートが顎髭を摩りながらそう答えると、「ということは、死んだ人の意識について何か記憶について何かをどうにかしてゼロポイントフィールドアカシックレコードから取り出すことが出来れば、死んだ人ともまた話が出来るかも知れないよね？」ウィザットが目を輝かせてそう言った。「それは将来的には可能かも知れん。今現在は脳をロボットに移植して生き続けるといった研究をしている機関があるとも聞くが、それは倫理的な問題も孕んでいるので中々実用化は今のところでは難しい様じゃ

が、仮にもしも直接ゼロポイントフィールドアカシックレコードにコンタクトしてそこから意識や記憶を取り出すことが可能になれば、死者との対話も出来るかも知れんおう。ただ：ゼロポイントフィールドアカシックレコードなるものが本当に存在しているのか、存在しているとしても何処に在るのかをまず突き止めないとならないので、そこがまずはネックじゃろ」



★これまでのお話(1~261話)は魔女ともえのwebで読むことが出来ます。

www.majotomoe.com 2026年5月1日号につづく